



「高品質な検査」シリーズ!!

高品質な検査は、BEST な条件から!!

⑤ 腹部エコー(超音波)前“患者努力”の重要性



超音波センター（内 9311）

腹部超音波検査は非侵襲的で被曝の心配がなく、リアルタイムで多くの情報を得ることができます。観察可能な病変は腹部臓器の多岐にわたり、医師からの依頼目的が一つの臓器に限られていたとしても、肝臓→胆嚢→腎臓→脾臓→膵臓→腹部大血管→膀胱→前立腺、子宮・卵巣と、**観察可能な臓器は全てスクリーニング**を行っています。

超音波検査は非常に有用な検査ですが、患者状態によっては適切な画像が得られない場合があります。以下の二つのポイントにご協力をお願いいたします。

① 検査前は“絶食”を!!（緊急時は除く）

食事をすると胆汁が排出されるために胆嚢が萎縮し、内腔の病変を認識することが困難になります。また、消化管内のガスが増え、背側にある臓器の描出が困難になります。

☆絶食時間は **6 時間以上** が推奨

☆水は飲んで OK、**牛乳やコーヒー、ジュースは絶対 NG**

☆内服については医師の指示を確認

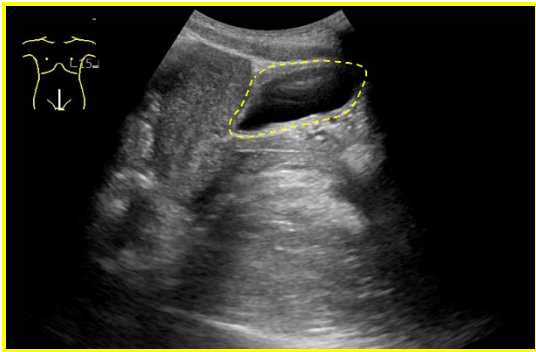
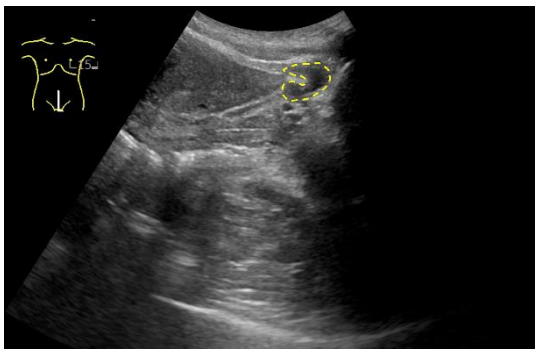
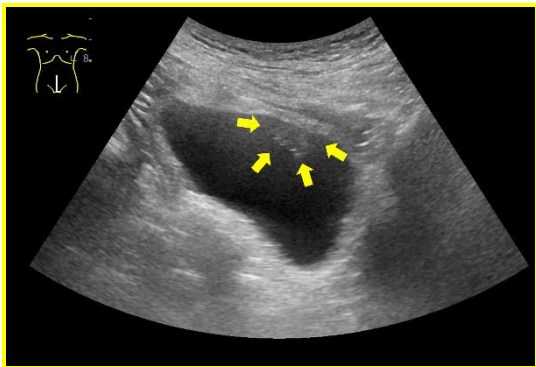
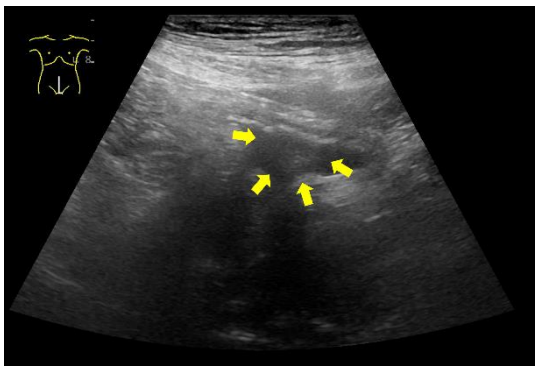
	絶食 10 時間	食後
胆嚢 (健常例)		
	○ 内腔がよく見える	× 内腔が確認しづらい
膵臓 (健常例)		
	○ 膵尾部までよく見える	× 尾部が見えない

② ある程度“尿が溜まった状態”に！！

排尿後に膀胱は萎縮するため、胆嚢と同様に内腔の病変を認識することが困難になります。また、膀胱背側に位置している前立腺、子宮、卵巣、直腸等の臓器が観察しづらくなる場合もあります。

☆可能な限り検査直前の排尿は控える

(7割程度尿が溜まっている状態での検査施行が望ましいです。約1時間前から尿を溜めておいていただく等のご指導をお願いいたします。)

	排尿前	排尿後
膀胱 (健常例)		
	○ 内腔がよく見える	× 内腔が確認できない
膀胱 (膀胱癌症例)		
	○ 腫瘍がわかりやすい	× 腫瘍が認識しづらい

腹部超音波検査前のポイント

- ① 検査前は絶食する(緊急の場合は除く)
- ② ある程度尿が溜まった状態で検査を受ける

※腹部超音波検査は平日8：30～12：00に検査枠を設けておりますが、緊急枠検査の都合等により、昼延食の指示をお願いする場合があります。併せてご了承ください。



委託(外注)検査室からのお知らせ



委託 (PHS 6651)

1. 新規項目

令和4年8月1日より、下記検査項目の受付を開始しております。ご確認ください。

委託先	検査項目	検査方法	検体種	容器	所要日数
SRL	絨毛染色体検査(POC)	G-band	流産胎児由来組織	外 11	28 日
BML	インターロイキン 6	ECLIA 法	血清	外 00	2~3 日
	レプチン	EIA 法	血清	外 00	2~8 日
	IV型コラーゲン・7S	CLEIA 法	血清	外 00	2~3 日

2. 変更項目

下記項目について、試薬変更に伴い検査内容が変更となっております。ご確認ください。

◎令和4年10月1日受託分より

委託先：LSIM		旧	新
TSH 刺激性レセプター抗体(TSAb)	検体量	血清 0.5mL	血清 0.4mL
	測定方法	EIA 法	バイオアッセイ法
	基準値	≤ 120	<110
	報告範囲	0~9990000 ≥ 9990000	<92 92~1199 ≥ 1200

◎令和4年10月11日受託分より

委託先：SRL		旧	新
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	基準値	< 3.0	< 2.1
	報告範囲	< 3.0 3.0~6.7 ≥ 6.8	< 2.1 2.1~7.0 ≥ 7.1
	報告桁数	有効 2、整数 1、少数 1	有効 3、整数 8、小数 1

検査部での外来患者“尿検査”について



一般 (内 9308)

検査部での採尿は「自排尿を介助無しに採尿・提出できる方」を対象としております。次のような患者さまは、診療科（外来処置室）での採尿をお願いします。

- ・採尿に介助が必要な方
- ・ご自身で採尿カップを提出窓口まで運べない方
- ・蓄尿バックを繋いでいる方（蓄尿中）あるいは蓄尿を持ってきている方など



“診療科（外来処置室）”での採尿



新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)検査提出時の注意点！



細菌（内 9305）

日頃は SARS-CoV-2 検査にご協力いただきありがとうございます。安心・安全な検査のために以下の注意事項を遵守していただくようお願い申し上げます。

① 受付終了時間

＊平日は 16 時まで。

＊16 時を過ぎる場合は、細菌検査室（内 9305）までご連絡ください。

② コロナ患者検体の提出場所

バイオボトル内の検体をご確認の上、以下の場所へご提出ください。

細菌検査検体および SARS-CoV-2 検査検体	➡ 細菌検査室
それ以外の検体（採血管など）	➡ ワンフロア検査室

③ 採取ラベルの貼付

検体提出時には、必ず採取ラベルの貼付を確認してください！！

④ 唾液採取時のファネル（漏斗）の廃棄

検査者の感染リスクが高くなりますので、ファネルは同封せずに必ず破棄してください！！

採取方法の詳細は電子カルテの新型コロナ専用サイト「唾液での SARS-CoV-2 検査手順（掲示用）」をご確認ください。



免疫血清検査室からのお知らせ



免疫血清（内 9307）

令和 4 年 11 月 1 日より HTLV-I 抗体検査（PA 法：用手法）は依頼検体数減少のため、院内測定を中止いたします。今後は、契約外外注検査として外注検査通知書（契約外黄伝票）をご使用ください。なお、HTLV-I 抗体検査（CLEIA 法：自動分析法）は今まで通り、院内測定を継続いたします。ご了承ください。

	検査方法	主な検体種別	今後の運用
PA 法	用手法	脳脊髄液	院内測定中止 → 外注（契約外）
CLEIA 法	自動分析法	血清	院内測定継続

※ HTLV-I 関連脊髄症（HAM）診療ガイドライン 2019 より

脳脊髄液 HTLV-I 抗体検査：PA 法で抗体価 4 倍以上を陽性とする。



<スタッフ>

赤岩 沙紀 藤田 望 森田 沙瑛
中川 裕美 漆原 南実 村田 梨菜
山口 夏美 西村 泰香 吉岡 冴夏
佐藤 雅美 中尾 隆之

<編集後記>

朝晩が涼しくなり、秋の訪れを感じるようになりました。季節の変わり目に体調を崩さないよう気をつけて、食欲、芸術、スポーツなど様々な秋を楽しみましょう！（漆原）